

おかげさまで創業190周年

190th

会社案内

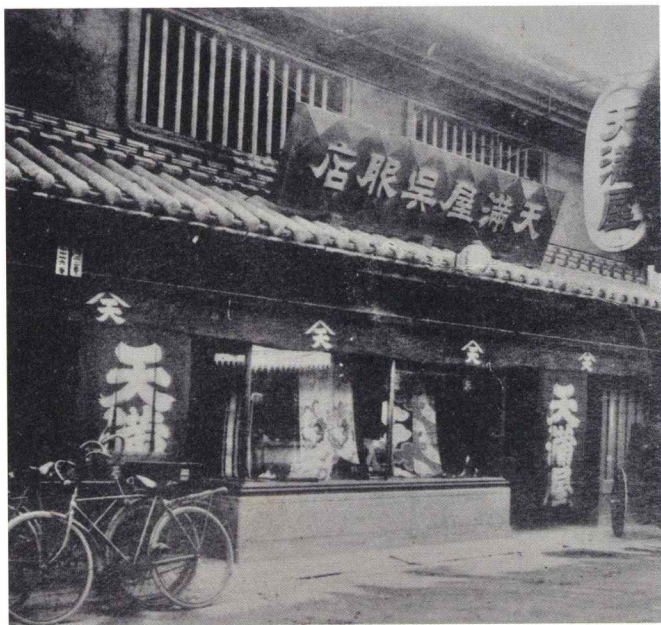
TENNAYA

人を想い、街を拓く。





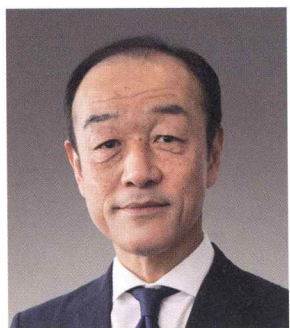
現在の天満屋岡山本店、正面玄関。



西大寺から岡山へ進出当時の天満屋店舗。(1912年)

これまでも、これからも、お客様のすぐそばに。

「ありがとう。また、あなたに会いに来るわね。」
 長いおつきあいのお客様が、こんな言葉をくださったたり。
 お母様と幼いころからお買い物にいられた、
 おてんばな女の子が素敵なレディになり、
 「今度、結婚するんです。」と、はにかみながらご報告してくださったり。
 「初孫が生まれてね。」と、満面の笑顔で
 携帯電話の待ち受け画像を見せてくださったたり。
 私ども天満屋は、地域の百貨店として、
 お客様一人ひとりと心と心のおつきあいを変えることなくさせていただき、
 親子孫の三世代にわたるお客様が
 たくさんいらつしゃることが一番の誇りであり喜びです。
 創業から190年の間にお店の姿はもちろん、
 あつかう商品も、提供するサービスも、
 お客様とのコミュニケーションをサポートする
 システムまでずいぶん変わりました。
 これからも高い先見性と実践力で天満屋は進化し続けます。
 もちろん、その進化は、お客様や地域の方々と、一緒に歩いていくためのものです。
 これまでも、これからも、お客様のすぐそばに。
 明日の暮らしと、より温かく深く関りたい、天満屋です。



代表取締役社長
江國 成基

いつの時代も私たちはお客様を見つめています。
 これからも、天満屋は変化し続けます。

天満屋の創業以来変わらないプリンシプル、それが「地域社会への貢献」です。
 19世紀の前半、天満屋の創業者伊原木茂兵衛は、当時としては画期的な「正
 札販売」を行い、「公正適価」で商品を提供することによって地域の人々から大
 きな信頼を集めました。以来、天満屋は地域の一人ひとりのお客様と向き合い、そ
 のニーズに真摯に応えていくことで、今日に至る長い歴史を紡いできました。
 現在の天満屋グループは、ライフスタイル事業、サービス事業、人材サービス事業、
 ICT事業、建設・不動産事業の各分野に、合計15社を擁しています。B to B、
 B to Cを問わず、地域社会の様々なシーンにおいて、高品質・高付加価値の商品
 とサービスを提供する企業グループとして、その業容を整えました。
 しかしながら、時代環境は常に動いており、経済、科学、文化等のあらゆる分野
 が、急速な変化を遂げています。天満屋グループはその変化に遅れることなく、グ
 ループシナジーを発揮し、お客様が求めているもの、地域社会が求めているものを
 提供し続けていきたいと考えています。



岡山本店



津山店



倉敷店



広島アルパーク店



広島緑井店



福山店



米子しんまち天満屋
(グループ企業)



お客様の気に入り「一番店」

百貨店には生活をより豊かでより楽しくなるものがある、と期待されているお客様が多くいらっしゃいます。そう思っていた方には共通の体験があります。

「百貨店では親切で気持ちの良い接客をしてください」

「百貨店の販売員は商品の機能や使用方法など説明、アドバイスが豊富だった」

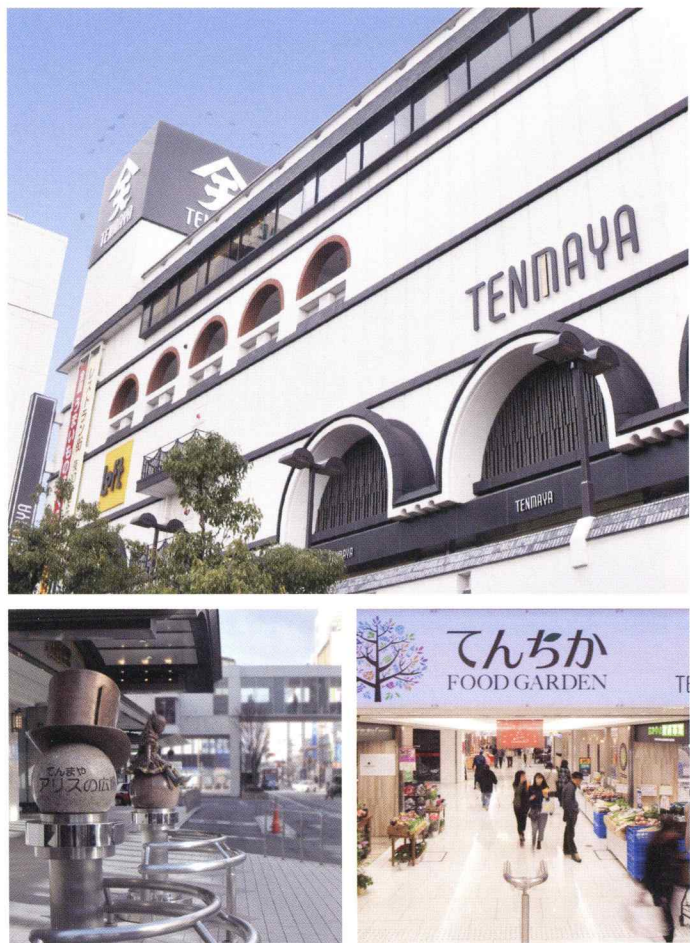
「百貨店はアフターサービスが行き届いていた」

「百貨店ではトレンドのものや洗練されたデザインのもものが豊富にあった」

「百貨店では見ているだけでも楽しかった」

このような体験を言えれば、「私にぴったりの提案をしてくれる存在」です。

個々のお客様になくはない存在であることを目指し、お客様の要望をきちんとくみ取り、「本当に欲しかった」と思っていた商品にお客様の期待以上のおもてなしと接客を重ね、「また天満屋で買いたい」「また、あなたから買いたい」の声が絶えないおもてなしサイクルを創ります。



これからも、
お客様との繋がりを深めるために
私たちがいま取り組んでいること。



それぞれの地域にあった店舗づくり

一つひとつの店舗の存在そのものが、その街のお客様に喜んでいただける店でありたい。そう考えるからこそ、天満屋はあえて全店を統一しないという戦略を採っています。一人ひとりに個性があるように、店舗ごとにその地域のお客様に愛され親しまれる個性の創造を目指します。

よりクオリティの高い商品提供といち早いトレンド紹介をする岡山本店、福山店、本格的郊外百貨店として全国の先駆的な存在の広島アルパーク店、デリーユースをターゲットにした広島緑井店などがこうした戦略の表れです。

地域とともにあり続ける

地方都市において、百貨店はその街の中心であり、地域の活力の象徴です。私たちの提供する商品やサービス、それに付随する様々な情報や刺激が、地域を活気づけ、街を元気にし、そこに暮らす人々の幸せにつながると信じています。常に地域とともにあり続けるといことが変わることのない天満屋の信念です。

これまでも、創業の地である岡山に市民会館すらなかった頃から店舗内に演芸場を作ったり、日本画最大の美術展「院展」の開催など様々な活動を行ってきました。

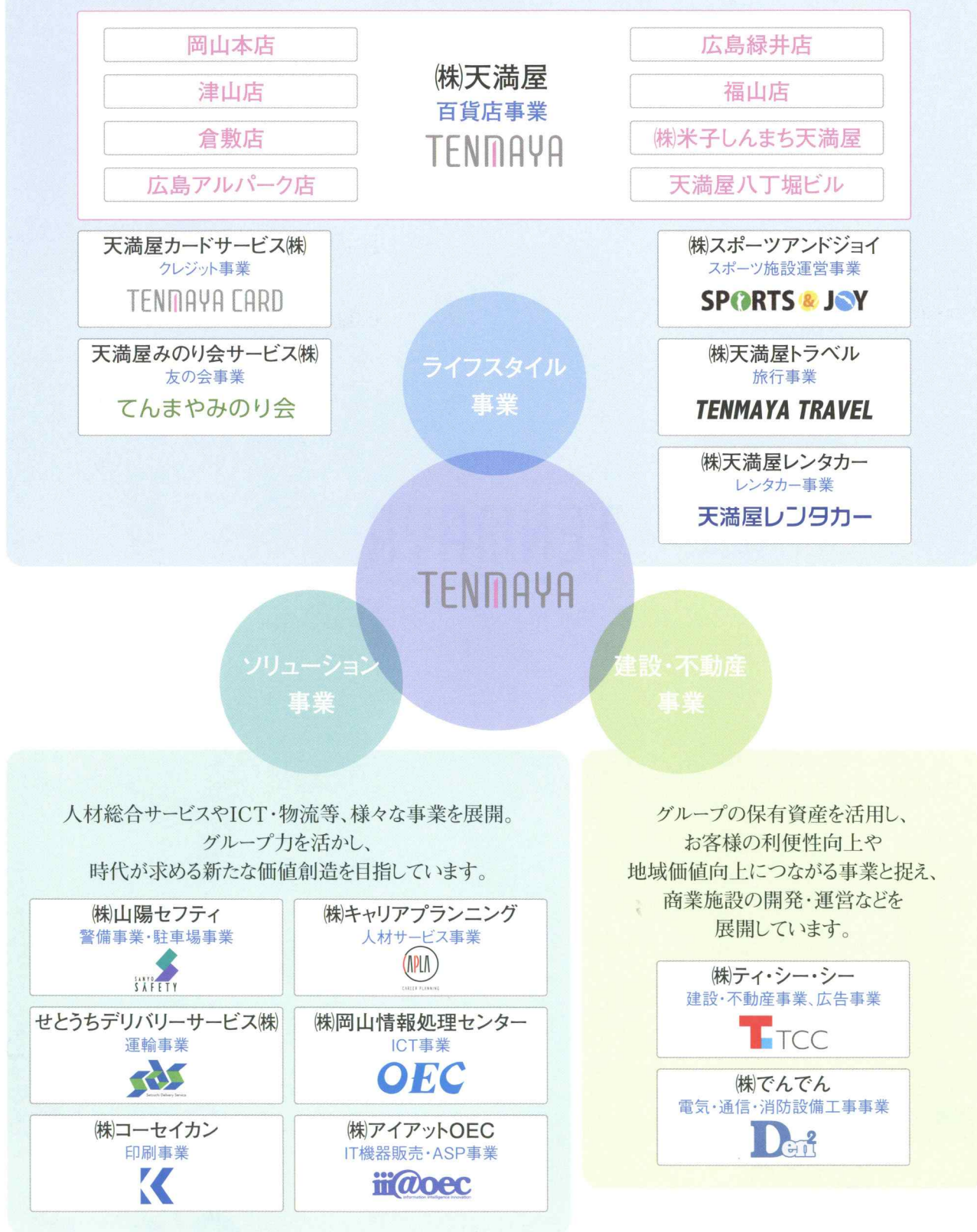
今後はさらに地域との結びつきを深くした取組みを進めたいと考えます。地域の生産者と協同した商品開発、地域の特産品を他の地域へ発信、同じ地域の商店主と共同で取り組む販促策…地域とともに成長する企業であり続けます。



天満屋グループ企業

天満屋グループは、グループシナジーを発揮し、お客様が求めているもの、地域社会が求めているものを提供し続けます。

百貨店をコアに、多様な価値観やライフスタイルにこだわりのサービスと品揃えでお応えする事業を展開しています。



天満屋のあゆみ

- 1829年(文政12年) ● 伊原本茂兵衛(三十七歳)、備前西大寺に小間物店を開く。天満屋小間物屋(現:株式会社 天満屋)創業。
- 1857年(安政4年) ● 呉服を中心とした商売を始める。
- 1896年(明治29年) ● 小売専業となり、正札販売を開始。
- 1912年(大正元年) ● 岡山市中之町37番地に支店開設。
- 1918年(大正7年) ● 天満屋株式会社を創設。
- 1925年(大正14年) ● 岡山市下之町77番地に本店を新築し、形態を百貨店とする。従業員として、女子第一期生を採用する。
- 1927年(昭和2年) ● 岡山店西館竣工、屋上喫茶(ソーダ・ファウンテン)や、岡山初のエレベーターが新設された。
- 1928年(昭和4年) ● 商号を株式会社天満屋に変更。
- 1936年(昭和11年) ● 3月11日、火災により本館と付属建物を全焼するが、10月には新館をオープンする。岡山店新店舗屋上に子供の国オープン。
- 1945年(昭和20年) ● 6月29日の岡山空襲により全館焼失するが、3ヶ月余りで営業を再開する。
- 1949年(昭和24年) ● 天満屋バスステーションを開設。
- 1953年(昭和28年) ● 葦川会館を開設。
- 1963年(昭和38年) ● 福山店 新店舗開店。
- 1964年(昭和39年) ● 倉敷店 新店舗開店。
- 1969年(昭和44年) ● 岡山店・バスステーション再開完了。岡西館印刷 株式会社(現:株式会社 コーセイカン)と資本業務提携。株式会社 天満屋ストア 設立。
- 1971年(昭和46年) ● 株式会社 天満屋航空サービス(現:株式会社 天満屋トラベル)設立。
- 1972年(昭和47年) ● 株式会社 岡山情報処理センターと資本業務提携。株式会社 ハッピーバラエティ(現:株式会社 でりか菜)設立。
- 1973年(昭和48年) ● 天満屋みのり会サービス 株式会社 設立。
- 1975年(昭和49年) ● 山陽警備保障 株式会社(現:株式会社 山陽セフティ)を子会社化。
- 1981年(昭和56年) ● 三原店を開店。株式会社 天満屋パーキング 設立。
- 1984年(昭和59年) ● 株式会社 モア(現:天満屋カードサービス 株式会社)設立。株式会社 ボムアン 設立。
- 1985年(昭和60年) ● 天満屋デリバリーサービス 株式会社(現:せとうちデリバリーサービス 株式会社)設立。
- 1986年(昭和61年) ● 株式会社 天満屋キャリアプランニング(現:株式会社 キャリアプランニング)設立。株式会社 バジェット・レンタカー中国(現:株式会社 天満屋レンタカー) 設立。
- 1988年(昭和63年) ● 天満屋ロゴリニューアル。
- 1990年(平成2年) ● 広島アルパーク店を開店。米子しんまち天満屋を開店。
- 1991年(平成3年) ● 天満屋女子陸上競技部発足。
- 1997年(平成9年) ● 広島緑井店を開店。
- 1999年(平成11年) ● 津山店を開店。福山ポートプラザ店を開店。
- 2001年(平成13年) ● 高松天満屋を開店。
- 2004年(平成16年) ● 株式会社 アイアットOEC 設立。
- 2007年(平成19年) ● 電通テック 株式会社(現:株式会社 でんでん)を子会社化。
- 2008年(平成20年) ● 株式会社 ハウジング山陽(現:株式会社 ティ・シー・シー)設立。
- 2011年(平成23年) ● 株式会社 天満屋スポーツアンドジョイ(現:株式会社 スポーツアンドジョイ)設立。
- 2015年(平成27年) ● 全国初 商店街と百貨店の免税一括カウンターが岡山本店にオープン。「子育てサポート企業」として厚生労働省より「くるみん」認定。「女性活躍推進企業」として厚生労働省より「えるぼし」認定。
- 2018年(平成30年) ●



▲初代店主 伊原本茂兵衛 (1829~1862年)



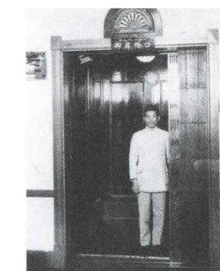
▲1906年当時の店舗(備前西大寺)



▲1912年岡山市中之町に支店開設



▲1925年岡山市下之町に本店を新築し、形態を百貨店とする



▲1927年岡山店西館竣工、岡山初のエレベーターが新設



▲1949年天満屋バスステーション開設



▲1963年福山店新店舗開店



▲1964年倉敷店新店舗開店



▲1964年広島八丁堀店新店舗開店



▲1969年当時の岡山本店



▲1981年広島三原店開店



▲1990年広島アルパーク店開店



▲1990年米子しんまち天満屋開店



▲1997年広島緑井店開店



▲1999年津山店開店



▲2001年高松天満屋開店

TENMAYA
<http://www.tenmaya.co.jp>

会社概要

- 社名 株式会社 天満屋
- 創業 1829年(文政12年)
- 資本金 1億円
- グループ従業員数 1,971名
- 連結売上高 1,160億円(2018年2月期)
- 代表者 代表取締役社長 江國 成基
- 本社所在地 〒700-8625 岡山県岡山市北区表町2丁目1番1号
- 経営理念 優良商品の販売を通じて、地域社会の生活・文化の向上に寄与する
- 会社ビジョン 『ありがとう』があふれる地域一番の“おもてなし感動デパート”になる

